

米国経済・金融概況 (2022年4月)

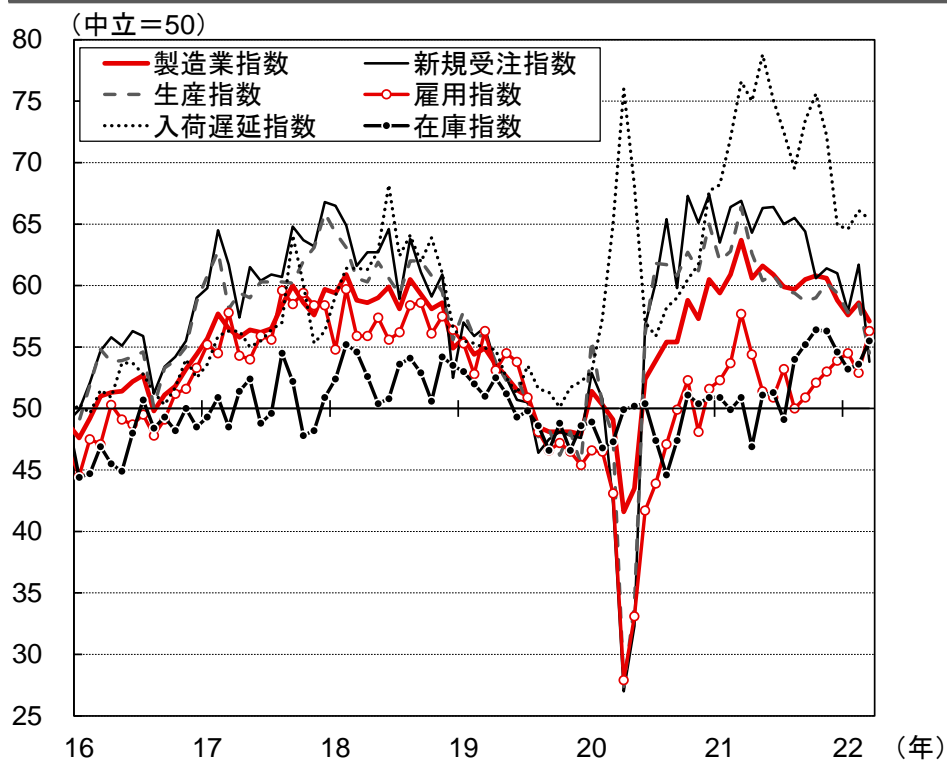
2022年4月15日

経営企画部経済調査室(ニューヨーク)

1. 企業活動

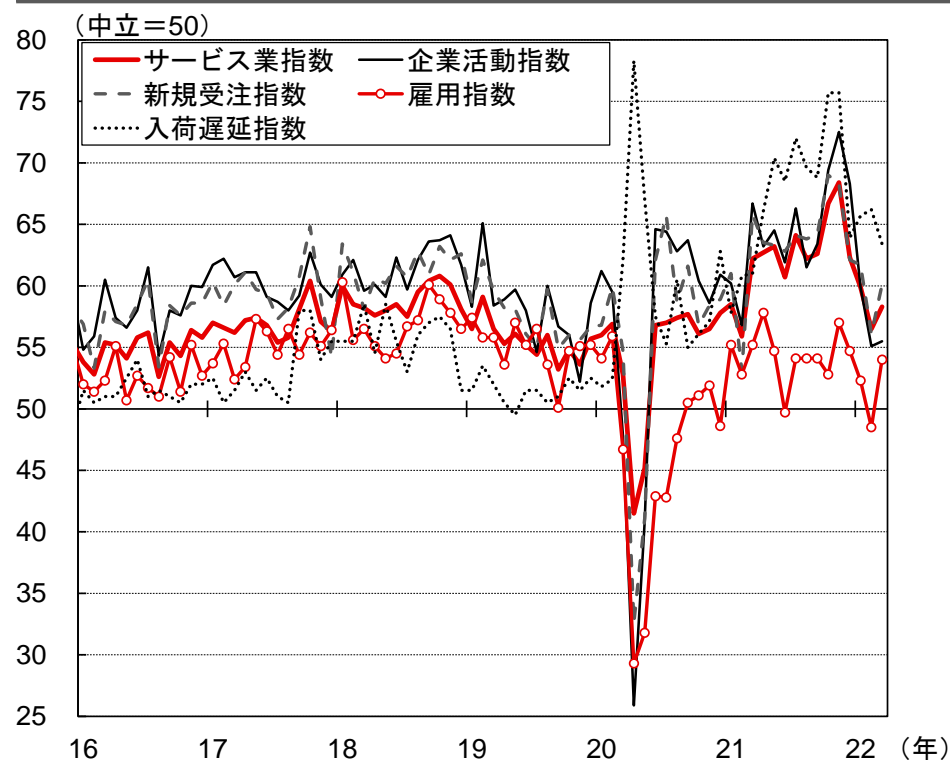
- 製造業の景況感・活動状況を表すISM製造業指数(総合指数)は、3月に57.1(前月比▲1.5)と2ヵ月ぶりに低下。指数の構成項目をみると、雇用指数(56.3、同+3.4)は上昇した一方、新規受注指数(53.8、同▲7.9)、生産指数(54.5、同▲4.0)が大幅に低下。回答企業からは「離職率の低下等、人手不足の改善がみられた」「ロシアによるウクライナ侵攻の影響は見極め中」等のコメント。なお、総合指数は拡大と縮小の境目である50を22ヵ月連続で上回り、産業別では全18産業のうち15産業が拡大、2産業が縮小、1産業が横這いを報告(2月は16産業が拡大、1産業が縮小、1産業が横這い)。
- 3月のISMサービス業指数(総合指数)は58.3(前月比+1.8)と4ヵ月ぶりに上昇。指数の構成項目をみると、入荷遅延指数(63.4、同▲2.8)は低下した一方、雇用指数(54.0、同+5.5)、新規受注指数(60.1、同+4.0)が大幅に上昇。回答企業からは「オミクロン株による感染拡大が落ち着き人手不足が緩和」等のコメント。総合指数は50を22ヵ月連続で上回り、産業別では全18産業のうち17産業が拡大、1産業が縮小を報告(2月は14産業が拡大、4産業が縮小)。

ISM製造業指数の推移



(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

ISMサービス業指数の推移

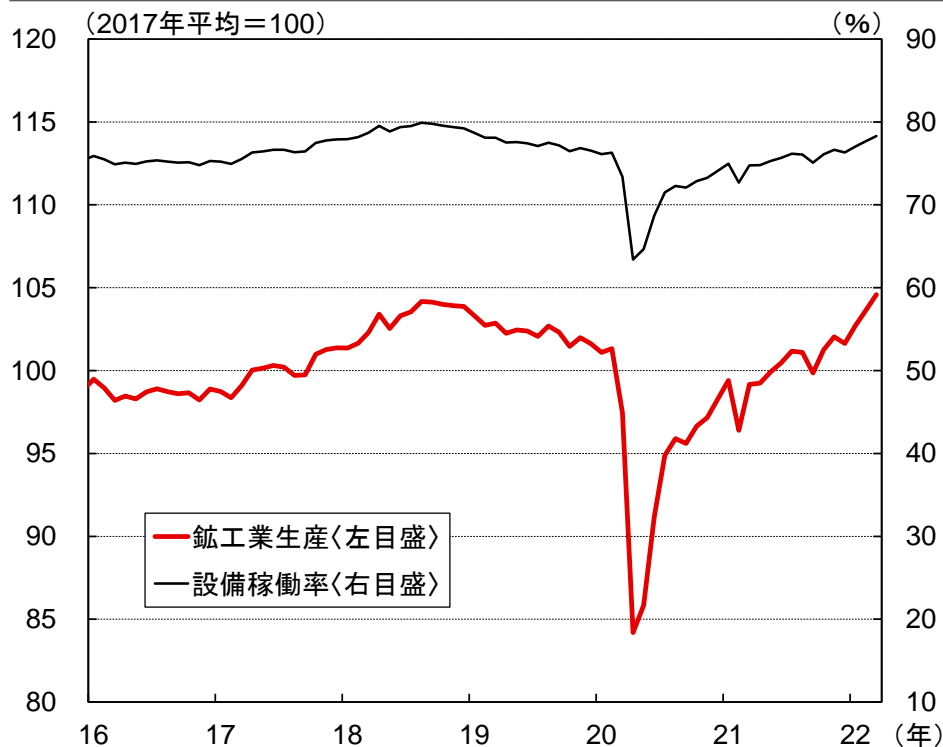


(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2. 生産

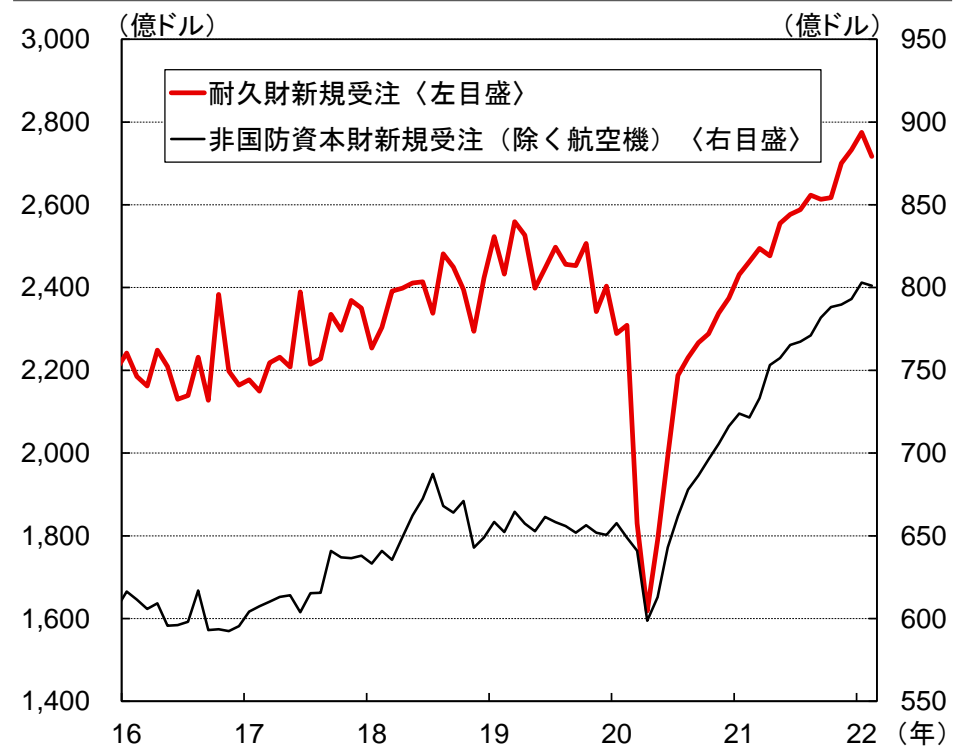
- 3月の鉱工業生産は前月比+0.9%と3カ月連続で増加。産業別にみると、「製造業」(同+0.9%)が「自動車・同部品」(同+7.8%)を中心に増加したほか、「鉱業」(同+1.7%)、「公益事業(電力・ガス)」(同+0.4%)も夫々増加。3月の設備稼働率は78.3%と前月から0.6%ポイント上昇。
- 2月の耐久財受注は前月比▲2.1%と5カ月ぶりに減少。内訳をみると、全体の約3割を占める「輸送用機器」(同▲5.3%)が「民間航空機」(同▲30.4%)を中心に減少。また、設備投資の先行指標であるコア資本財受注(非国防資本財受注、除く航空機)も同▲0.2%と12カ月ぶりに減少。

鉱工業生産と設備稼働率の推移



(資料)FRB統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

耐久財受注の推移

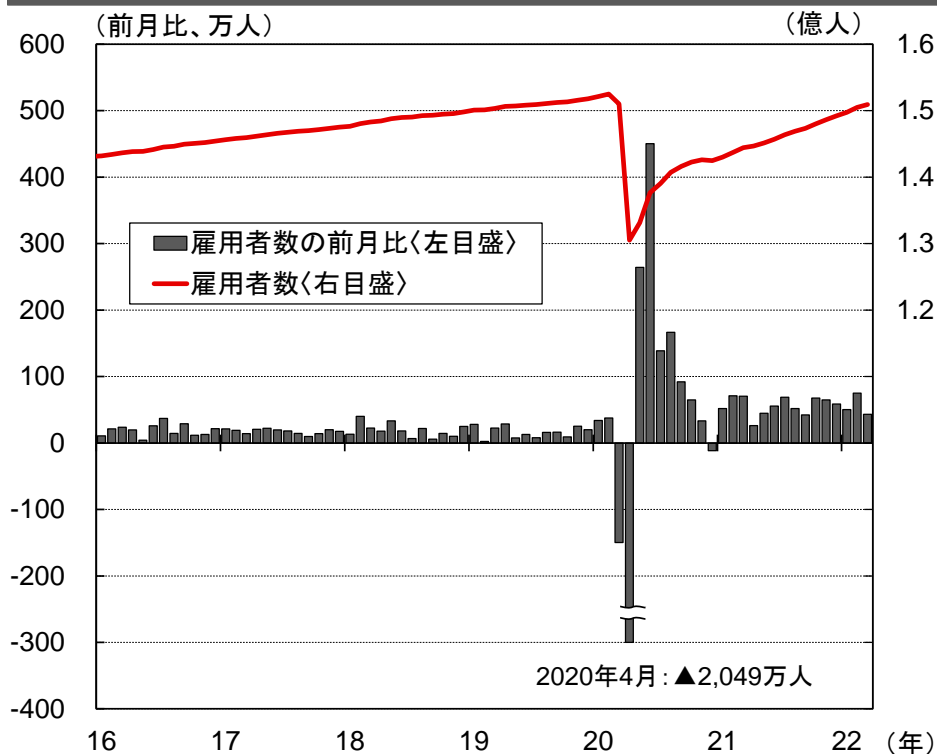


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

3. 雇用

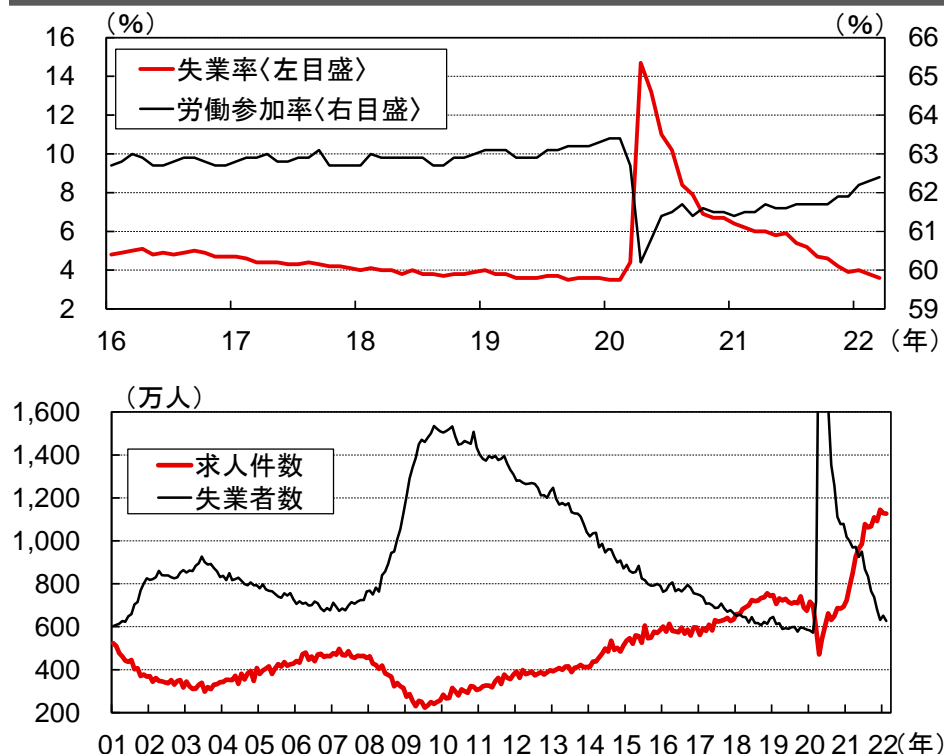
- 3月の非農業部門雇用者数は前月比+43.1万人と堅調に増加(2月:同+75.0万人、改定値)。業種別にみると、「レジャー・飲食・宿泊」(同+11.2万人)、「専門・ビジネスサービス」(同+10.2万人)、「小売業」(同+4.9万人)、「製造業」(同+3.8万人)など多くの業種で増加。非農業部門雇用者数の水準はパンデミック前(2020年2月)に対して▲158万人(▲1.0%)。
- 3月の失業率は3.6%と前月から0.2%ポイント低下し、失業者数は595万人(前月比▲31.8万人)。労働参加率は62.4%と前月比+0.1%ポイント。時間当たり平均賃金(民間部門)は前年比+5.6%と前月(同+5.2%)から伸びが加速。
- 2月の求人件数は1,126.6万件(前月比▲1.7万件)と小幅減少。もともと、8カ月連続で1,000万件を上回り、失業者数を大きく上回るなど、労働需給の逼迫は継続。

非農業部門雇用者数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

失業率・失業者数・労働参加率・求人件数の推移

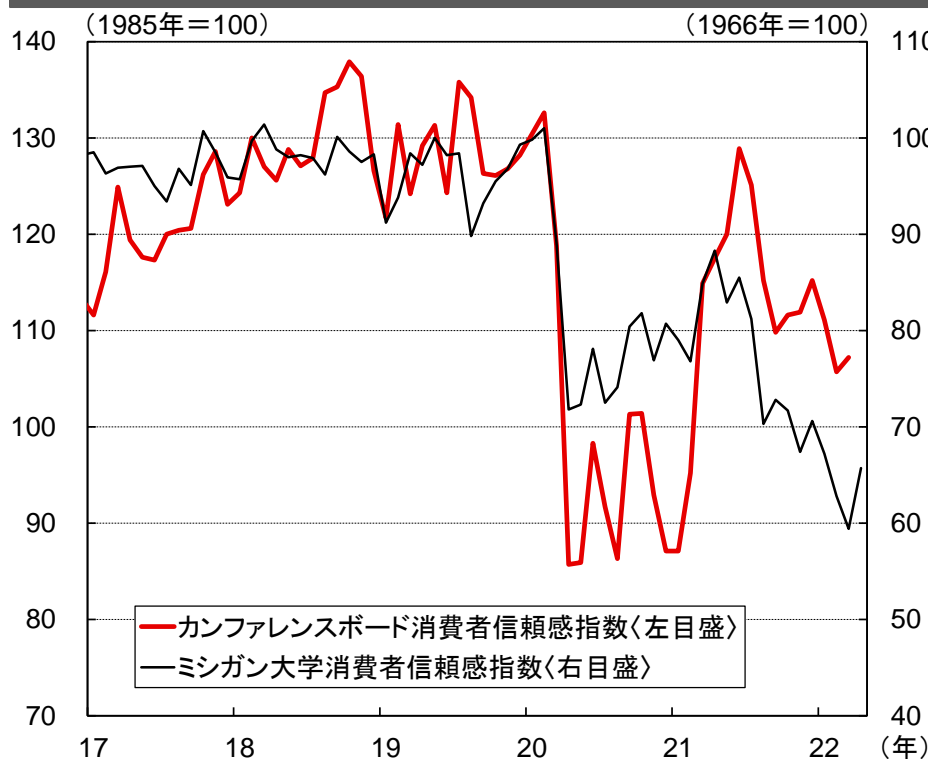


(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

4. 個人消費

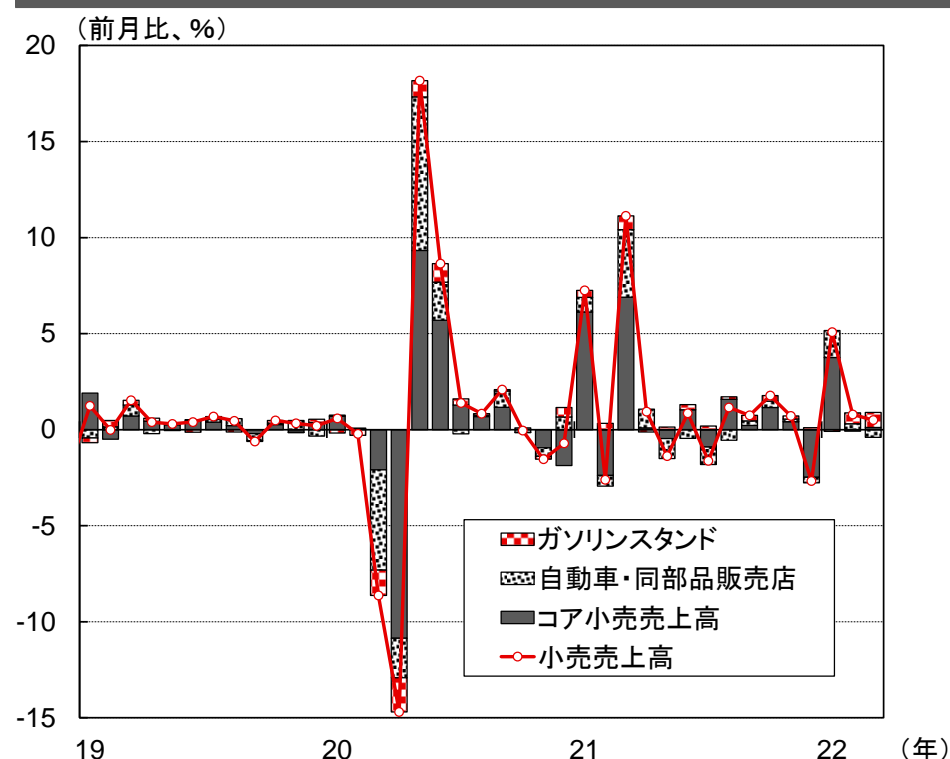
- 3月のカンファレンスボード消費者信頼感指数は107.2(前月比+1.5)と3カ月ぶりに上昇。また、4月のミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)も65.7(同+6.3)と4カ月ぶりに上昇。労働市場が堅調であることや、ガソリン価格が3月中旬をピークに下落し、エネルギー価格上昇への懸念がやや緩和したことが背景。
- 3月の小売売上高は前月比+0.5%と3カ月連続で増加(2月:同+0.8%、改定値)。業種別にみると、パンデミック下で増加基調が続いてきた「無店舗小売業」(同▲6.4%)は2カ月連続で減少。一方、原油価格上昇を受け「ガソリンスタンド」(同+8.9%)が大幅に増加したほか、「総合小売店」(同+5.4%)、「電機・家電販売店」(同+3.3%)等も増加。変動の大きい「自動車・同部品販売店」と「ガソリンスタンド」を除いたコア小売売上高は同+0.2%(2月:同▲0.1%、改定値)と小幅増加。

消費者信頼感指数の推移



(資料)カンファレンスボード、ミシガン大学統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

小売売上高の推移

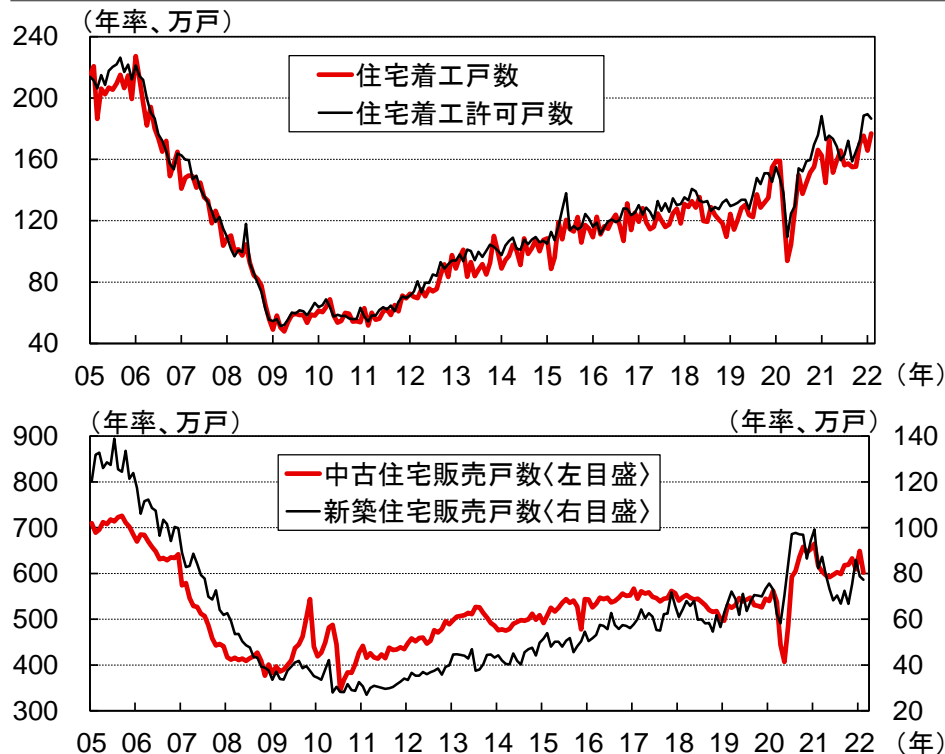


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

5. 住宅

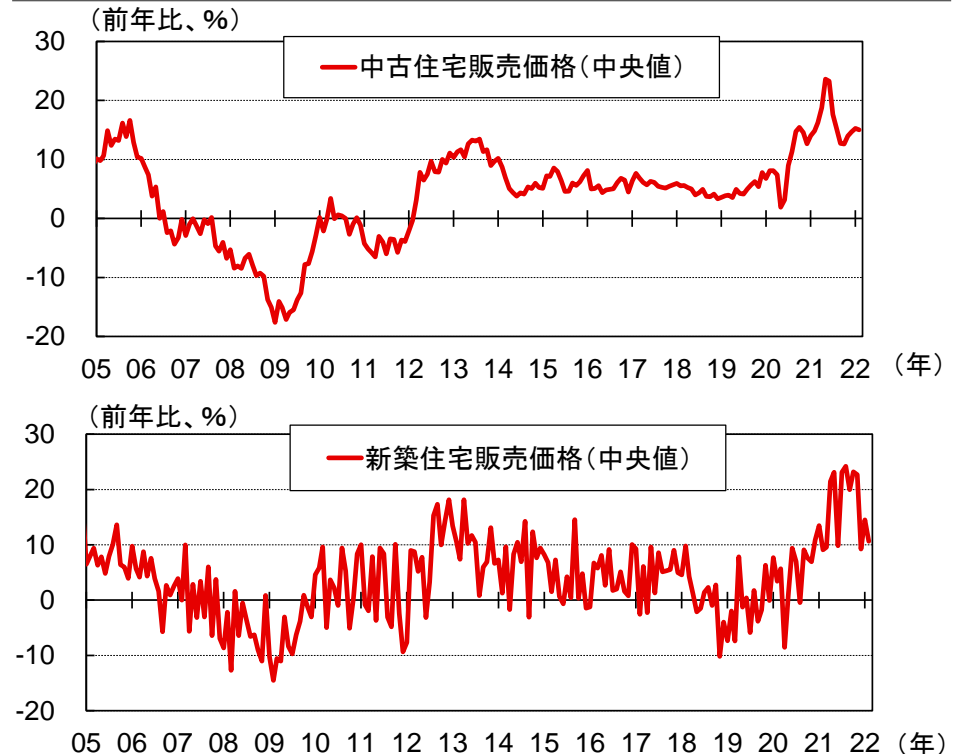
- 2月の住宅着工戸数は前月比+6.8%の年率176.9万戸(季節調整済)と2ヵ月ぶりに増加。内訳をみると、一戸建住宅は同+5.7%、集合住宅(2世帯以上)は同+9.3%と夫々増加。一方、先行指標である住宅着工許可戸数は同▲1.6%の年率186.5万戸(季節調整済)と5ヵ月ぶりに減少。
- 2月の住宅販売戸数は中古住宅が前月比▲7.2%の年率602.0万戸(季節調整済)と2ヵ月ぶりに減少。新築住宅は同▲2.0%の年率77.2万戸(季節調整済)と2ヵ月連続で減少。住宅販売価格は中古住宅が357,300ドル(中央値)、前年比+15.0%(1月:同+15.3%)、新築住宅は400,600ドル(中央値)、同+10.7%(1月:同+14.5%)と上昇幅は夫々縮小。
- 2月の在庫率は中古住宅が1.9ヵ月(季節調整済)と前月(1.8ヵ月)から小幅上昇。新築住宅も6.3ヵ月(季節調整済)と前月(6.1ヵ月)から上昇。

住宅着工戸数・着工許可戸数・住宅販売戸数の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅販売価格の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

6. 物価

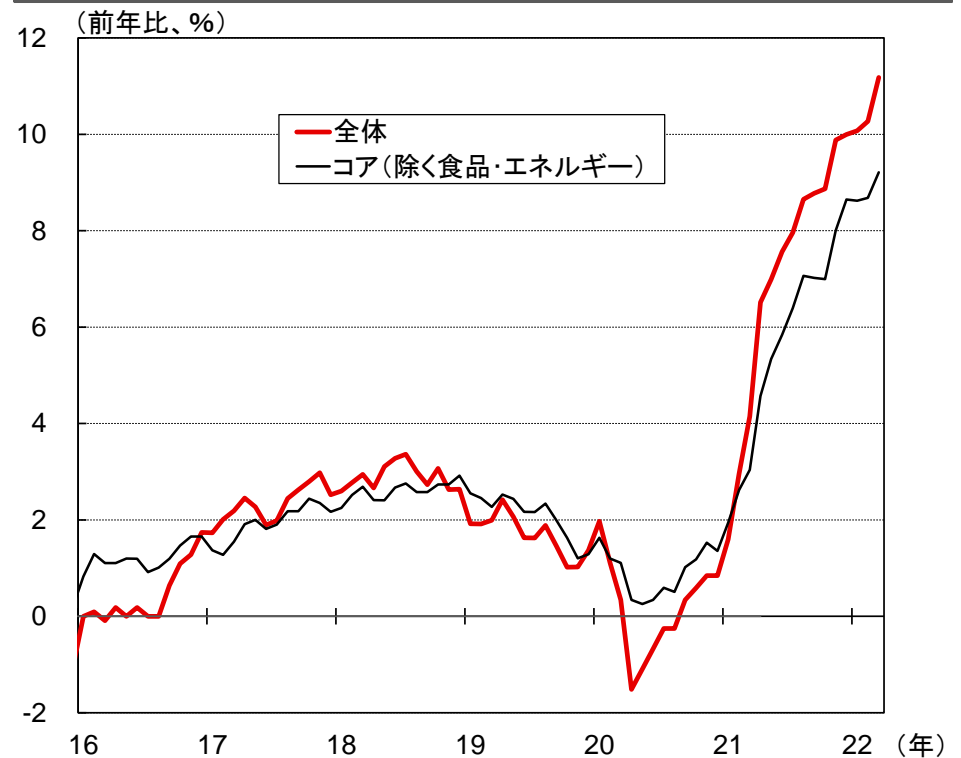
- 3月の消費者物価指数は前年比+8.5%と2月(同+7.9%)から伸びが加速し、1981年12月以来の上昇率に。食品とエネルギーを除いたコア消費者物価指数も前年比+6.5%(2月:同+6.4%)と1982年8月以来の上昇率。内訳をみると、エネルギー(2月:同+25.6%→3月:同+32.0%)、食品(同+7.9%→同+8.8%)の伸びが大幅に加速し、ロシアによるウクライナ侵攻の影響が顕在化。一方、中古車(同+41.2%→同+35.3%)は前月から伸びが縮小。
- 3月の生産者物価指数は前年比+11.2%(2月:同+10.3%)と、現行統計で遡れる2010年11月以降で最大の上昇率。内訳をみると、「財」(2月:同+14.4%→3月:同+15.7%)、「サービス」(同+8.2%→同+8.7%)ともに加速。食品とエネルギーを除いたコア生産者物価指数も同+9.2%と2月(同+8.7%)から加速。

消費者物価指数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

生産者物価指数の推移

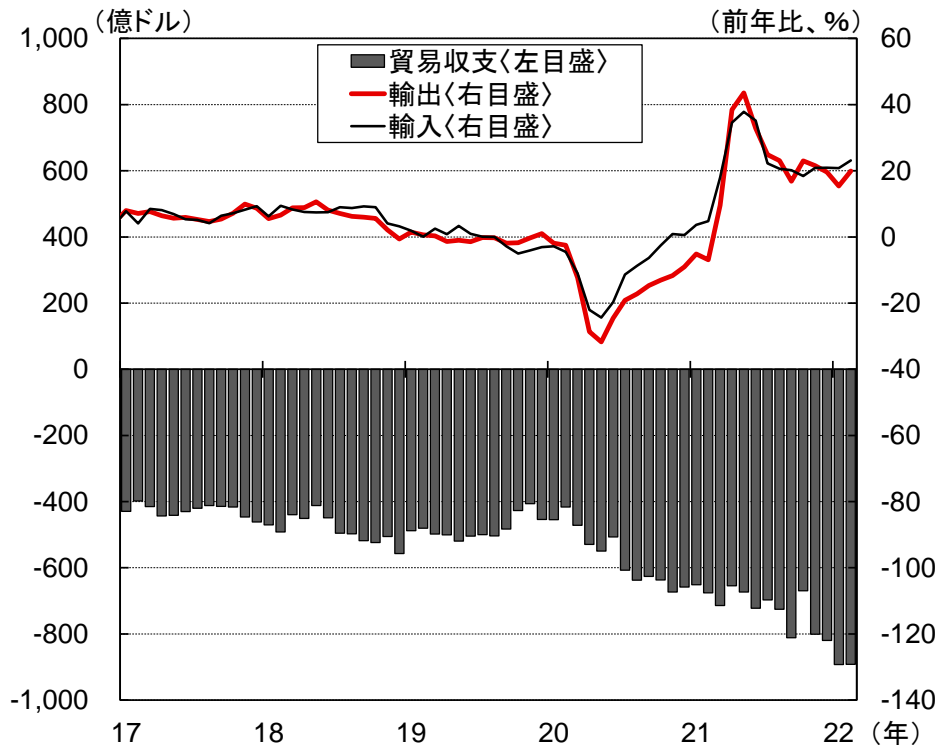


(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

7. 国際収支

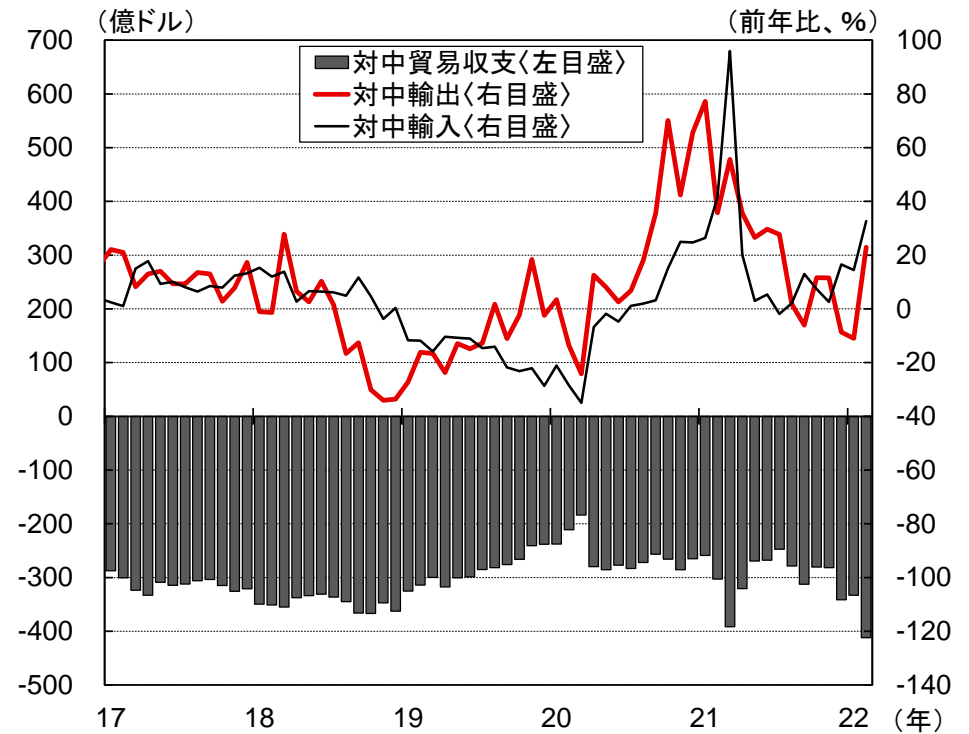
- 2月の貿易収支(財・サービス)は892億ドルの赤字となり、赤字幅は前月から横這い。輸出は前月比+1.8%、輸入は同+1.3%と夫々増加。前年比でみると輸出は+19.9%、輸入は+23.1%。
- 財の貿易収支を国・地域別にみると、米国の貿易赤字(財)の3分の1程度を占める中国との貿易赤字は2月に412億ドルとなり、赤字幅は前月比+23.8%(同+79億ドル)と拡大。対中輸出(財)は同+1.6%、対中輸入(財)は同+17.6%と夫々増加。前年比でみると、対中輸出(財)は+22.9%、対中輸入(財)は+32.6%。

貿易収支と輸出入(財・サービス)の推移



(注)国際収支ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。
(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

対中貿易収支と対中輸出入(財)の推移



(注)通関ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。
(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

8. 金融市場動向

- 10年物国債利回りは、4月6日に公表された3月FOMC議事録や一連のFRB高官の発言にて、早いペースで利上げを行う姿勢が一段と明確化されたことを受けて上昇し、足元では2.8%台で推移。
- ダウ平均株価は2月末以降、ウクライナ侵攻を巡る不確実性の高まりを受けて値動きが激しくなっているが、足元ではFRBの金融引き締め姿勢の強まりを受けて弱含んでいる。

10年物国債利回りの推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ダウ平均株価の推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移①

主要月次経済指標の推移

		21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月	4月
企業活動・生産	ISM 製造業指数	63.7	60.6	61.6	60.9	59.9	59.7	60.5	60.8	60.6	58.8	57.6	58.6	57.1	-
	ISMサービス業指数	63.7	62.7	63.2	60.7	64.1	62.2	62.6	66.7	68.4	62.3	59.9	56.5	58.3	-
	鉱工業生産指数(2012年平均=100)	99.2	99.2	99.9	100.5	101.2	101.1	99.9	101.3	102.0	101.6	102.7	103.6	104.6	-
	前月比(%)	2.9	0.1	0.7	0.5	0.7	-0.1	-1.2	1.4	0.8	-0.4	1.0	0.9	0.9	-
	設備稼働率(%)	74.8	74.8	75.3	75.7	76.2	76.1	75.1	76.1	76.6	76.3	77.0	77.7	78.3	-
	製造業受注(億ドル)	4,881	4,874	4,986	5,061	5,095	5,146	5,171	5,234	5,331	5,367	5,447	0	-	-
	前月比(%)	1.4	▲0.1	2.3	1.5	0.7	1.0	0.5	1.2	1.8	0.7	1.5	▲0.5	-	-
	うち耐久財受注(億ドル)	2,495	2,476	2,555	2,577	2,588	2,623	2,614	2,617	2,700	2,733	2,775	2,717	-	-
前月比(%)	1.3	▲0.7	3.2	0.8	0.5	1.3	▲0.4	0.1	3.2	1.2	1.5	▲2.1	-	-	
雇用・個人消費	非農業部門雇用者数(前月比、万人)	70.4	26.3	44.7	55.7	68.9	51.7	42.4	67.7	64.7	58.8	50.4	75.0	43.1	-
	時間当たり平均賃金(ドル)	30.06	30.20	30.36	30.52	30.67	30.76	30.92	31.11	31.23	31.38	31.56	31.60	31.73	-
	前年比(%)	4.4	0.6	2.2	4.0	4.3	4.3	4.8	5.4	5.3	4.9	5.4	5.2	5.6	-
	失業率(%)	6.0	6.0	5.8	5.9	5.4	5.2	4.7	4.6	4.2	3.9	4.0	3.8	3.6	-
	個人所得(年率、億ドル)	241,424	209,245	205,147	205,705	208,353	209,163	207,198	208,449	209,579	210,402	210,519	211,533	-	-
	前月比(%)	21.0	▲13.3	▲2.0	0.3	1.3	0.4	▲0.9	0.6	0.5	0.4	0.1	0.5	-	-
	個人消費(年率、億ドル)	154,589	156,187	156,244	158,020	158,149	159,911	160,889	163,095	163,909	162,423	166,784	167,133	-	-
	前月比(%)	5.2	1.0	0.0	1.1	0.1	1.1	0.6	1.4	0.5	-0.9	2.7	0.2	-	-
	貯蓄率(%)	26.6	12.6	10.4	9.5	10.5	9.8	8.1	7.3	7.3	8.4	6.1	6.3	-	-
	小売売上高(億ドル)	6,229	6,288	6,201	6,254	6,153	6,224	6,270	6,381	6,426	6,255	6,572	6,624	6,657	-
	前月比(%)	11.1	0.9	▲1.4	0.9	▲1.6	1.2	0.7	1.8	0.7	▲2.7	5.1	0.8	0.0	-
	自動車販売台数(年率、万台)	1,764	1,830	1,689	1,547	1,466	1,309	1,229	1,305	1,304	1,254	1,502	1,397	1,333	-
前月比(%)	10.7	3.7	▲7.7	▲8.4	▲5.2	▲10.8	▲6.1	6.2	▲0.1	▲3.8	19.8	▲7.0	▲4.6	-	
カンファレンスボード消費者信頼感指数	114.9	117.5	120.0	128.9	125.1	115.2	109.8	111.6	111.9	115.2	111.1	105.7	107.2	-	
ミシガン大学消費者信頼感指数	84.9	88.3	82.9	85.5	81.2	70.3	72.8	71.7	67.4	70.6	67.2	62.8	59.4	65.7	

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移②

主要月次経済指標の推移

		21年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月	4月
住宅	住宅着工戸数(年率、万戸)	173	151	159	166	156	157	155	155	170	175	177	177	-	-
	前月比(%)	19.2	▲12.2	5.3	4.0	▲5.7	0.7	▲1.5	0.1	9.7	3.0	▲5.5	6.8	-	-
	中古住宅販売戸数(年率、万戸)	604	596	592	597	603	599	618	619	633	609	649	602	-	-
	前月比(%)	▲2.1	▲1.3	▲0.7	0.8	1.0	▲0.7	3.2	0.2	2.3	▲3.8	6.6	▲7.2	-	-
物価	新築住宅販売戸数(年率、万戸)	87	80	73	68	70	67	73	67	75	86	79	77	-	-
	前月比(%)	6.1	▲8.8	▲7.9	▲6.8	3.1	▲5.1	8.5	▲8.0	12.9	14.2	▲8.4	▲2.0	-	-
	消費者物価指数(1982~84年=100)	264.9	267.1	269.2	271.7	273.0	273.6	274.3	276.6	277.9	278.8	281.1	283.7	287.5	-
	前月比(%)	0.6	0.6	0.7	0.9	0.5	0.3	0.4	0.9	0.7	0.6	0.6	0.8	1.2	-
国際収支	前年比(%)	2.6	4.2	5.0	5.4	5.4	5.3	5.4	6.2	6.8	7.0	7.5	7.9	8.5	-
	生産者物価指数(2009年11月=100)	123.0	124.3	125.5	126.6	127.8	128.8	129.1	130.1	131.1	131.3	133.1	134.4	136.8	-
	前月比(%)	0.7	1.0	1.0	0.8	0.9	0.9	0.5	0.7	1.0	0.6	1.2	0.9	1.4	-
	前年比(%)	4.1	6.5	7.0	7.6	8.0	8.7	8.8	8.9	9.9	10.0	10.1	10.3	11.2	-
国際収支	輸出(財、億ドル)	1,438	1,453	1,459	1,462	1,489	1,500	1,430	1,590	1,563	1,582	1,560	1,588	-	-
	輸入(財、億ドル)	2,362	2,317	2,346	2,388	2,360	2,386	2,404	2,423	2,546	2,600	2,646	2,662	-	-
	貿易収支(財、億ドル)	▲924	▲864	▲887	▲926	▲871	▲886	▲974	▲833	▲984	▲1,018	▲1,086	▲1,075	-	-
	貿易収支(財・サービス、億ドル)	▲714	▲654	▲673	▲722	▲697	▲725	▲812	▲669	▲801	▲820	▲892	▲892	-	-

(注)『消費者物価指数』とその『前年比』、『生産者物価指数』とその『前年比』は季節調整前。

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名 : 株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室(ニューヨーク)
1251 Avenue of the Americas, New York, NY 10020, USA

照会先 : 岡田 知恵 e-mail : cokada-wighe@us.mufg.jp